

### Ⅲ. 資 料

#### 使用した調査票

### Ⅲ. 資料

## 令和4年度 県政世論調査

### ～調査ご協力のお願い～

日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、山口県では、県内にお住まいの18歳以上の方3,000人を無作為に選ばせていただき、県政に関するアンケート調査「県政世論調査」を実施しております。

本年度は、あなた様を対象に選ばせていただきましたので、どうぞ、率直なお考えやご意見をお聞かせください。

ご回答は無記名としており、お答えいただいた内容については、すべて統計的に処理し、本調査の目的以外に用いることはございません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、今後の県政運営の基礎資料とさせていただきますので、なにとぞ、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年6月

山口県 総合企画部 広報広聴課

#### ご回答にあたってのお願い

- ◇ 回答は、お送りした封筒のあて名の方ご本人が記入してください。
- ◇ 次ページ以降の各質問について、あてはまる番号を○で囲んでください。
- ◇ 「その他」を選ばれた場合は、( ) 内に具体的に記入してください。
- ◇ 7月4日(月)までに、次のいずれかの方法でご回答をお願いします。

##### ・本調査票で回答

同封の返信用封筒に調査票を入れて、ポストに投函してください。

##### ・インターネットで回答

① 回答用Webページを開く。

アドレスを入力するか、二次元バーコードを読み取り、Webページに接続する。

●アドレス

<https://kktssr.com/yamaguchir4>

●二次元バーコード



② 「回答用ID」と「パスワード」を入力し、ログインする。

●回答用ID

●パスワード

③ 画面の案内に沿って回答する。

(インターネットで回答された場合は、調査票を返送する必要はありません。)

※ 調査票にあなたのご氏名等を記入される必要はありません。

※ インターネットで回答しても、あなたのご氏名等は特定されません。

この調査についてご不明な点や疑問点などがありましたら、下記までお問い合わせください。

【調査実施主体】 山口県総合企画部広報広聴課 広聴企画班 TEL 083-933-2560

【調査実施機関】 株式会社東京商エリサーチ 山口支店 TEL 0834-22-1060

**最初に、生活全般や政治・経済への関心度についておたずねします。**

**Q1-1** 今のお宅の暮らし向きは、2～3年前に比べて・・・ (○は1つ)

1. 良くなった 2. 少し良くなった 3. 変わらない 4. 少し悪くなった 5. 悪くなった

その理由をお書きください ( )

**Q1-2** 今のお宅の暮らし向きにあなたは・・・ (○は1つ)

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

その理由をお書きください ( )

**Q1-3** これからのお宅の生活の見通しは・・・ (○は1つ)

1. 明るい 2. やや明るい 3. やや暗い 4. 暗い

その理由をお書きください ( )

**Q2** あなたは、国や県、市町の政治・経済についてどの程度関心がありますか。(○はそれぞれ1つ)

	大変 関心がある	関心がある	あまり 関心がない	全く 関心がない
(1) 国の政治・経済	1	2	3	4
(2) 県の政治・経済	1	2	3	4
(3) 市町の政治・経済	1	2	3	4

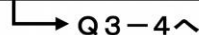
**県の行っている広報についておたずねします。**

**Q3-1** あなたは日頃、県が行っている仕事などの県政情報を何によって知ることが多いですか。(○はいくつでも)

- |                          |                       |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. 県広報誌「ふれあい山口」          | 8. 県が発行する各種パンフレット・チラシ |
| 2. 県政テレビ放送               | 9. 新聞報道               |
| 3. 県政ラジオ放送               | 10. テレビ報道             |
| 4. 県からの新聞広告              | 11. ラジオ放送             |
| 5. 県のホームページ              | 12. 市町広報紙             |
| 6. 県のメールマガジン             | 13. その他 ( )           |
| 7. 県のソーシャルメディア(フェイスブック等) |                       |

**Q3-2** 県全世帯に配布している県広報誌「ふれあい山口」を読んだことがありますか。(○は1つ)

- |          |               |                          |         |
|----------|---------------|--------------------------|---------|
| 1. 読んでいる | 2. ざっと目を通している | 3. あることは知っているが<br>読んでいない | 4. 知らない |
|----------|---------------|--------------------------|---------|



**Q3-3** 「ふれあい山口」の情報量及び読みやすさについておたずねします。(○はそれぞれ1つ)

(1) 発行回数 季刊発行 (年4回)	1. 多すぎる	2. 多い	3. ちょうど よい	4. 少ない	5. 少なすぎる
------------------------	---------	-------	---------------	--------	----------

(2) 各号の情報量 年2回：12ページ 年2回：8ページ	1. 多すぎる	2. 多い	3. ちょうどよい	4. 少ない	5. 少なすぎる
(3) 誌面の読みやすさ	1. 読みやすい	2. どちらかといえば読みやすい	3. どちらともいえな	4. どちらかといえば読みにくい	5. 読みにくい

**Q3-4** 県が提供しているテレビ・ラジオの県政番組についておたずねします。(〇はそれぞれ1つ)

(1) 次の番組を視聴（または聴取）されたことがありますか。1、2、3から選んでください。

(2) 視聴（または聴取）されたことがある場合は、その番組の印象をア、イ、ウから選んでください。

		毎回ほとんど見て(聴いている)	見た(聴いた)ことがある	ほとんど見た(聴いた)ことはない	大変好感が持てる	好感が持てる	好感が持てない
テレビ	「元気創出!やまぐち」[KRY 山口放送] 毎週日曜日 11:10~11:25	1	2	3	ア	イ	ウ
	「大好き!やまぐち」[TYS テレビ山口] 毎週土曜日 18:50~18:55	1	2	3	ア	イ	ウ
	「イキイキ!山口」[YAB 山口朝日放送] 毎週月曜日 23:10~23:15	1	2	3	ア	イ	ウ
ラジオ	「ワンポイント県政」[KRY 山口放送] 毎週水曜日 13:35~13:40	1	2	3	ア	イ	ウ
	「FM県民ダイアリー」[エフエム山口] 毎週月~金曜日 18:10~18:15	1	2	3	ア	イ	ウ
	「情報BOXやまぐち」[エフエム山口] 毎週月~金曜日 7:39~7:40	1	2	3	ア	イ	ウ

**Q3-5** 県では、本県の多彩な魅力や施策等の情報を、SNS等も活用し、ターゲットとなる方々に着実に届ける広報を展開しています。あなたは、このことをご存じですか。(〇は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

**県の取組に対する実感についておたずねします。**

山口県では、県づくりの基本目標である「活みなぎる山口県」の実現に向けて、さまざまな取組を進めています。ついては、取組の参考としますので、次の問いにお答えください。

**Q4-1** あなたにとって、山口県は住みよい県だと思いますか。(〇は1つ)

1. 住みよい県だと思う	3. どちらかといえば住みよい県だとは思わない
2. どちらかといえば住みよい県だと思う	4. 住みよい県だとは思わない

**Q4-2** あなたは、山口県にこれからも住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

1. これからも住み続けたい	3. 機会があれば県外に移りたい
2. 可能な限りこれからも住み続けたい	4. 県外に移りたい

Q4-3 「やまぐち維新プラン」では19のプロジェクトを掲げ重点的に施策を推進しています。これに関する県の施策について、あなたの実感についておたずねします。右ページも参考に、いずれか1つを○で囲んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

【1】産業維新		そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらともいえない	どちらかといえばそう思わない	そうは思わない
<b>1 「時代を勝ち抜く産業力強化」プロジェクト</b>						
①	港湾や幹線道路、工業用水などの産業基盤の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
②	新たな工場・事業所などの進出や、企業の設備の増設などが進んでいる	1	2	3	4	5
<b>2 「次代を切り拓く成長産業発展」プロジェクト</b>						
③	医療・環境関連産業や水素の利活用、バイオ関連産業など、今後、発展が期待できる産業の育成や集積が進んでいる	1	2	3	4	5
④	衛星データ利用の取組や、航空機・宇宙機器産業への県内企業の参入、IoT・ビッグデータ・ロボット・AI活用などの第4次産業革命など、新たな産業やビジネス創出の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>3 「中堅・中小企業の『底力』発揮」プロジェクト</b>						
⑤	ベンチャー企業の成長や、地域経済をけん引する中核的な企業の成長を支援するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑥	意欲的な中堅・中小企業の新商品・新サービスの開発や新たな事業展開などを支援するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑦	商業・サービス業の振興に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑧	意欲のある人材が「創業」(起業)しやすいように相談体制の整備や融資制度などの環境づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
⑨	本県の産業を担う人材の育成や確保に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>4 「強い農林水産業育成」プロジェクト</b>						
⑩	地産・地消や6次産業化、担い手の確保、先端技術の活用等による経営基盤の強化・生産拡大など活力ある農林水産業を振興するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5

## 19プロジェクトの主な取組のご紹介

①～⑩の質問に対応した主な取組（令和3年度の取組など）を記載していますので、ご回答の参考にしてください。

① コンビナートの国際競争力の強化に向け、世界最大級の船舶の入港が可能となる港湾整備を実施【R3年度：徳山下松港・宇部港】

② 医療関連・環境・エネルギー分野などの重点成長分野の企業誘致を推進【R3年：企業誘致件数：25件】



③ 水素の利活用による産業振興に向け、コンビナートで大量に生成される水素の活用や企業の水素関連研究開発を推進

医療、環境・エネルギー、バイオ関連分野における企業等の研究開発や事業化を支援【R3年度：事業化件数：14件】

④ IoTを活用した新サービス等を創出する企業を、補助金等により支援【R3年度：中小企業IoT導入率：19.3%】



⑤ 県内金融機関等と連携したカンファレンスチームにより、地域中核企業等への支援を実施【R3年度：企業支援・相談等対応件数 延べ 625件】

⑥⑦ ものづくりやサービス業を営む企業に対し、「生産性向上・人材創造拠点」を設置し、コーディネーターや補助金等による支援を実施

⑧ 商工会議所や商工会等と連携し、創業を希望する者を支援【R3年度：支援による創業数：201件】

⑨ 企業が求める産業人材の確保に向け、「山口しごとセンター」で、若者、女性、シニアと県内企業とのマッチング等を実施【R3年度：就職決定者（山口しごとセンター登録者）：3,716人】



⑩ 新規就業者に対して、全国トップ水準の給付金などによる支援に加え、技術習得から生活全般へのトータルサポート体制を構築

中核経営体の経営基盤強化のため、専門大学や専門家派遣等による経営分析、マネジメント研修、農業機械・施設等の整備など、総合的な支援を実施



【2】大交流維新		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
<b>5 「交流を拓げる基盤整備」プロジェクト</b>						
⑪	空港の便数や新幹線の停車回数など交通拠点の利便性や、交通拠点と観光地などを結ぶ二次交通の充実、道路網整備など、交通ネットワークの整備が進んでいる	1	2	3	4	5
⑫	海外自治体等との国際交流や、多文化共生を深めるための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>6 「選ばれる観光目的地やまぐち実現」プロジェクト</b>						
⑬	観光資源やおもてなしの充実、スポーツ・文化資源の活用など、観光客や来県者を増加させる取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑭	海外からの観光客を増加させるための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>7 「国内外での新たな市場開拓」プロジェクト</b>						
⑮	首都圏や関西圏などに、山口県の魅力や県産品等売り込むための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑯	中小企業の海外展開や農林水産物・加工品の海外輸出を促進するための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>8 「やまぐちへの人の還流・移住・定住促進」プロジェクト</b>						
⑰	県外からの移住・定住者を増やすための取組（UJIターンなど）が進んでいる	1	2	3	4	5

【3】生活維新		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
<b>9 「結婚、妊娠・出産、子育て応援」プロジェクト</b>						
⑱	結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶えるための支援が進んでいる	1	2	3	4	5
⑲	安心して子どもを生み育てるための周産期・小児医療体制の整備などが進んでいる	1	2	3	4	5
⑳	児童虐待の防止や子どもの貧困対策など、困難を有する子どもへの支援が進んでいる	1	2	3	4	5

- ⑪ 県内交通事業者（バス、タクシー等）が取り組む感染症対策への支援、観光列車などの運行等により観光地へのアクセスを改善

【R3年度：観光列車などの運行：SLやまぐち号、〇〇(まるまる)のはなし、やまぐち絶景満喫バス】

- ⑫ オンラインを活用した海外自治体等との交流・国際交流員による情報発信や、外国人に対する相談体制の確立や日本語教育の推進など、国際交流や多文化共生に関する取組を実施



- ⑬ 「行こうよ。やまぐちプレミアムキャンペーン」におけるプレミアム宿泊券等の販売、県民等を対象とした宿泊料金の助成、宿泊施設における「新しい生活様式」への対応支援や「そらから魅（み）る超絶景」などの観光資源の充実等、観光需要の一層の喚起を図る取組を実施

【R3年：宿泊施設の客室稼働率：山口県 48.1%（全国2位）】

※観光庁「宿泊旅行統計調査」R3年年間値（速報値）

- ⑭ 海外の旅行会社やメディアと連携したオンラインを活用したプロモーションの実施、観光事業者によるデジタル技術を活用した情報発信の支援や、クルーズ船寄港に向けた県内の主要寄港地、観光先の感染症対策等のPRなど、コロナ収束後を見据えた海外からの誘客拡大の取組を実施



- ⑮ 県産品の売り込みの強化を図るため、「地域商社やまぐち」を中心に、首都圏等での販路開拓や情報発信を実施

【R3年度：全市町参画によるご当地商品開発・売り込み、展示会出展、オンライン商談会、売り込み宣伝カーによる県産品の移動販売・PR】

- ⑯ 様々な県産品を合わせて輸出できる体制の構築や、現地での販売促進イベントを実施【R3年度：農林水産物等の輸出商品数：253商品】



- ⑰ 移住促進の取組の強化に向け、東京の移住希望者に向けた講座の開催、県外でも移住相談に対応できる体制の整備などを実施【R3年度移住者数：3,627人】



- ⑱ やまぐち結婚応援センターによるマッチングや、子育て世代包括支援センターの設置など、結婚から子育てまで、切れ目のない支援を実施

【R3年度：マッチング件数：702件、支援センター設置19市町】

- ⑲ 総合・地域周産期母子医療センターへの支援や、夜間の小児応急処置等への電話相談「#8000」など、周産期・小児医療の体制を整備

【R3年度：小児救急医療の電話相談の件数：8,103件】

- ⑳ 困難を有する子どもへの支援を充実するため、子ども食堂の開設支援など地域で支える「子どもの居場所づくり」の取組拡大や、児童福祉司の増員等を実施





		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
<b>10 「やまぐち働き方改革推進」プロジェクト</b>						
⑳	長時間労働の縮減や、仕事と子育て・介護等が両立できる環境整備など、「働き方改革」の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉑	若者の県内就職・定着に向けた支援が進んでいる	1	2	3	4	5
㉒	女性が希望に応じて働き続けることができる環境づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
㉓	高齢者が希望に応じて働き続けることができる環境づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
<b>11 「快適な暮らしづくり推進」プロジェクト</b>						
㉔	暮らしを支える道路網の整備や公共交通機関の利便性向上、都市公園の利用促進など、快適な生活環境づくりのための取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉕	再生可能エネルギーの導入促進などの地球温暖化対策の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉖	廃棄物の削減に向けたリサイクルなどの対策や廃棄物の適正処理の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉗	自然環境の保全・活用に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>12 「新時代を創造する人材育成」プロジェクト</b>						
㉘	コミュニティ・スクールが核となり、学校・家庭・地域が連携・協働して、子どもたちの学びや育ちを見守り支援する取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉙	35人学級や少人数指導など、子どもたちの学力向上に向けたきめ細かな学習指導ができる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
㉚	特別支援教育の推進に向け、きめ細かな学習指導ができる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
㉛	いじめ、不登校対策など、子どもたちの豊かな心の育成に向けた取組が進んでいる	1	2	3	4	5
㉜	特色ある学校づくりなど、子どもたちの豊かな学びを支える教育環境の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
㉝	大学などが参画した地域づくり活動など、大学などによる地域貢献や地域活性化の取組が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>13 「人を豊かにする環境づくり推進」プロジェクト</b>						
㉞	生涯学び続けるための地域における多様な学習の機会や、自らのスキルアップのための学び直しの機会が充実している	1	2	3	4	5
㉟	文化・芸術活動やスポーツ活動が盛んに行われている	1	2	3	4	5

- ②① 働き方改革実践モデルづくりに向け、「やまぐち働き方改革支援センター」や登録制のアドバイザーにより、企業の取組のサポートを実施  
【R3年度：支援センター企業訪問件数：451件】
- ②② 若者の県内就職・定着のため、県内外の大学生を対象とした県内企業インターンシップを実施【R3年度：インターンシップ参加学生数：725人】
- ②③④ 「山口しごとセンター」を設置し、女性や高齢者の就職支援を強化  
【R3年度：シニア・女性就職支援コーナー利用件数：668件】



- ②⑤ 公共交通機関の利便性の向上に向け、ノンステップバスや路線バスの交通系ICカードの導入支援、「新たな地域交通モデル形成に関する取組方針」を踏まえた地域交通の課題解決に資する実証事業を推進  
【R3年度：交通系ICカード導入支援1社】
- ②⑥ 低炭素型ライフスタイルへの行動変容を促進するアプリの開発や、山口県産品を導入したネット・ゼロ・エネルギー・ハウス（ZEH）に対する補助などにより、省エネ・創エネ・蓄エネの取組を推進  
【R3年度：ZEH補助25件】
- ②⑦ 食品ロス削減に向けたフードバンク活動の拡大・定着を図る取組を支援  
【フードバンクポスト数：87カ所（R4.3.31時点）】
- ②⑧ 指定希少野生動物種の追加指定や野生鳥獣の適正な管理による生態系の保全、ニホンアワサングなどの自然資源を活用したエコツーリズムを促進する取組を実施



- ②⑨ 全国に先駆け、全ての公立小中学校、高等学校及び総合支援学校等にコミュニティ・スクールを導入し、地域と連携した取組を実施  
【R3年度：コミュニティ・スクールを活用し取組を実施した県立高校等：100%】
- ③⑩ 全公立小中学校で35人学級化の維持、少人数指導のための教員加配、学力向上推進リーダー等の配置など、指導体制の整備を実施
- ③⑪ 総合支援学校における実践的・体験的なキャリア教育を充実、東京パラリンピックを契機としたパラリンピアンとの交流会実施など、障害のある生徒の社会参加を促進  
【R3年度：総合支援学校高等部の就職希望生徒の就職決定率：94.6%】
- ③⑫ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにより、児童生徒等へのカウンセリングや家庭への支援などを実施  
いじめや自殺の未然防止に向け、教員への研修などを実施
- ③⑬ 県内初の3部制の定時制課程と通信制課程をもつ「山口松風館高校」を設置し、開校に向けた学校づくりを実施
- ③⑭ 県内の大学が持つ知見を活用した共同研究の推進や、大学生が中山間地域を活性化する取組への支援などを実施



- ③⑮ 博物館やセミナーパークにおいて、生涯学習講座を開催するなど、様々な学習の機会を提供
- ③⑯ 「古代エジプト展」など美術館での企画展の開催や、本県の魅力ある美術収蔵品をオンライン展覧形式で公開する「バーチャルアートミュージアム」の運用開始、手ぶらで様々なアウトドアアクティビティを体験できる「スポーツフィールドやまぐちフェスティバル」の開催  
【R3年度：県立美術館入館者数：135,354人】  
【R3年度：スポーツフィールドやまぐちフェスティバル来場者数：8,298人】



		そう思う	どちらか といえば そう思う	どちらと もいえな い	どちらかと いえばそう は思わない	そうは 思わない
<b>14 「誰もがいきいきと輝く地域社会実現」プロジェクト</b>						
③7	NPO、ボランティアなどによる県民活動や住民による見守り活動が活発に行われている	1	2	3	4	5
③8	男女が性別にかかわらず、個性や能力を発揮できる社会づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
③9	高齢者などのシニアが、スポーツ・文化活動や社会貢献活動などに活躍できる社会づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
④0	障害のある人に対する理解が進み、障害のある人が就労したり、スポーツ・文化活動を行うことができる社会づくりが進んでいる	1	2	3	4	5
④1	一人ひとりの人権が尊重されている	1	2	3	4	5
<b>15 「安心の医療・介護充実」プロジェクト</b>						
④2	地域で医療サービスを受けられる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
④3	医療や介護が必要になっても、高齢者が地域で安心して生活できる体制の整備が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>16 「県民一斉健康づくり」プロジェクト</b>						
④4	生活習慣病の予防など、県民の健康づくりに向けた対策が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>17 「災害に強い県づくり推進」プロジェクト</b>						
④5	地域における防災活動が活発になっている	1	2	3	4	5
④6	大雨、台風、地震などに対する防災・減災対策やインフラの老朽化対策が進んでいる	1	2	3	4	5
④7	学校やホテル・旅館、住宅など、建築物の耐震化が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>18 「暮らしの安心・安全確保」プロジェクト</b>						
④8	食品の検査や消費生活センターにおける相談など、食や消費生活の安心・安全の確保に向けた対策が進んでいる	1	2	3	4	5
④9	安全で安心して暮らせる社会づくりに向けて、犯罪や交通事故の防止に向けた対策が進んでいる	1	2	3	4	5
<b>19 「人口減少社会を生き抜く地域づくり」プロジェクト</b>						
⑤0	まちの拠点に、生活に必要な福祉・商業施設などを集約するコンパクトなまちづくりが進んでいる	1	2	3	4	5
⑤1	中山間地域の暮らしを守り、地域づくりを支援する取組が進んでいる	1	2	3	4	5
⑤2	中山間地域の地域資源を活用して、農林漁業などの体験を行う地域交流など、新たなビジネスを行うための取組が進んでいる	1	2	3	4	5

- ③7 県民活動促進期間におけるキャンペーンの実施やフェスタ・写真展の開催、ボランティアマッチングサイト「あいかさねっと」の運営などにより、県民活動を推進
- ③8 男性の家事・育児への参画促進を図るため、夫婦等を対象とした家事に関する講座「オモカジいっぱいオンライン～家事は時短とコミュ術で～」を開催
- ③9 高齢者のスポーツと文化の祭典「ねんりんピック山口」の開催、老人クラブのコミュニティ・スクールへの参画など、高齢者の活動を支援  
【R3年度：ねんりんピック山口：15種目、1,623人参加】
- ④0 「障害者芸術文化祭」、「キラリンピック」の開催や、パラアスリートの海外遠征助成など、障害者の活躍を支援  
【R3年度：パラアスリート認定選手6名】
- ④1 人権ふれあいフェスティバルの開催や、スポーツ組織と連携協力した人権啓発活動を実施



- ④2 本県出身の医学生に対する修学資金の貸付けや、研修医への指導体制の充実など、若手医師確保に向けた総合的な対策を実施
- ④3 介護人材・生活支援コーディネーターの養成により、介護や生活支援等のサービスを一体的に提供する体制(地域包括ケアシステム)を強化



- ④4 歩数や体重など健康情報を管理する「やまぐち健幸アプリ」の利用促進、減塩などに取り組む飲食店を拡大するプロジェクトの実施  
【取組を行う飲食店数：延べ498店（R4.3.31時点）】



- ④5 地域が主体となった避難体制づくりの支援や、自主防災組織役員等を対象とした研修を実施
- ④6 大規模自然災害に備えるため、道路・橋梁、河川・ダム、砂防堰堤などの整備や老朽化対策を実施
- ④7 施設の耐震化工事のほか、危険なブロック塀の除去への補助を実施



- ④8 県と市町の消費生活相談員による、架空請求などの消費者問題に関する相談体制を整備【R3年度：消費生活相談員の配置市町数：19市町（全市町）】
- ④9 うそ電話詐欺被害を防止するための戸別訪問活動や、高齢者を対象とした交通安全指導を実施  
【R3年度：戸別訪問活動：延べ33,665世帯（うち独居：延べ14,534世帯）】  
【R3年：高齢者対象の安全教育：480回（延べ12,553人）】



- ⑤0 住宅や福祉・商業施設などを一定の区域に集約するため、市町が進めている「立地適正化計画」の策定を支援
- ⑤1 集落の枠を超えた広い範囲(複数の集落)で、生活交通や買い物などの生活環境の維持・充実を図る「やまぐち元気生活圏」づくりを支援  
【R3年度：やまぐち元気生活圏づくりに取り組む地域数：70地域】
- ⑤2 地域交流の機運を醸成するセミナーの開催や、地域交流の主体となる担い手組織の立ち上げりを支援【R3年度：セミナー参加者：延べ48人】





## 2 デジタル化について

Q6-1 あなたのインターネットの活用状況について教えてください。(〇は1つ)

1. インターネットを活用している	2. インターネットを活用していない
-------------------	--------------------

↓

〔「1.」と回答された方。使用している機器は何か教えてください。(〇はいくつでも)〕

1. パソコン	4. ウェアラブル端末	7. 家庭用ゲーム機
2. スマートフォン	5. 携帯電話(スマートフォンを除く)	8. その他
3. タブレット端末	6. テレビ	

Q6-2 あなたは、申請・届出等の行政手続をオンライン(各種申請システム・電子メール等)で手続したことがありますか。(〇は1つ)

1. オンラインで手続したことがある	→Q6-3へ
2. オンラインで手続したことはないが、してみたい	→Q6-4へ
3. 手続がまだオンライン化されていないため、できない	
4. オンラインで手続ができることを知らなかった	
5. パソコンやスマホを持っていない(使えない)ため、できなかった	
6. 関心がなく、今後もオンラインで手続をしない	

Q6-3 オンラインでの手続の利用のしやすさや分かりやすさについて、どの程度満足していますか。(〇は1つ)

1. 満足している	4. どちらかといえば不満である
2. どちらかといえば満足している	5. 不満である
3. どちらともいえない	

Q6-4 あなたは、オンラインでの手続を促進するために、何が必要と考えますか。(〇はいくつでも)

1. 手続を行うための入口のわかりやすさ	7. 手続の処理状況が確認できること
2. 手続の際の操作方法のわかりやすさ	8. 手続がオンラインのみで完結すること
3. 個人情報保護などのセキュリティ対策	9. 手続に関する相談窓口の設置
4. オンラインで行える手続の拡充	10. オンラインで手続をするための環境
5. オンラインで行える手続の周知	11. その他( )
6. 手続から許可等までの処理の迅速化	12. 特にない

Q6-5 あなたは、どのような分野において、デジタル技術の活用が進んでいると思いますか。(〇はいくつでも)

1. ショッピング	6. 行政手続	11. 農林水産業
2. 教育・学習支援	7. ものづくり	12. 結婚・子育て
3. 医療・介護	8. 暮らしの安全・防犯	13. その他
4. 働き方・オフィス環境	9. 建設業・インフラ管理	14. 特にない
5. 観光・交通	10. 産業人材確保・育成	

Q6-6 本県でデジタル化が進むためには、どのような取組が必要と考えますか。(〇はいくつでも)

1. デジタルが苦手な方へのサポート (デジタルデバイド対策)	6. デジタル教育の推進、デジタル人材の育成
2. 情報セキュリティの確保	7. デジタル化に取り組む企業等への支援
3. 行政手続のオンライン化	8. データのオープン化と利活用の促進
4. 情報通信環境の整備・拡充	9. その他
5. マイナンバーカードの普及・活用	10. 特にない

### 3 犯罪被害者等支援について

Q7-1 あなたが犯罪被害に遭ってしまった場合、誰に相談しようと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 県や市町などの行政機関	6. 友人や会社の上司、同僚等
2. 警察等の捜査機関	7. その他 ( )
3. 民間の支援団体 (民間犯罪被害者等支援団体)	8. 相談できる人がいない、相談できる機関がわからない
4. 弁護士や法テラス	9. 相談しない
5. 家族、親族	

Q7-2 あなたは、犯罪被害に遭われた方やその家族又は遺族が「二次的被害」※により苦しんでいる実情があることを知っていますか。(〇は1つ)

※「二次的被害」とは、犯罪等による直接的な被害を受けた後に、犯罪被害者等に対する配慮に欠ける言動、誹謗中傷、過剰な取材等により、犯罪被害者等が受ける精神的な苦痛、身体の不調、名誉の毀損、私生活の平穩の侵害、経済的な損失その他の被害をいう。

1. 身近な人が苦しんでいたのを知っている	3. 知らない
2. 苦しんでいる人がいることを聞いたことがある	

Q7-3 あなたは、次の犯罪被害者等支援に関するものを知っていますか。(〇はいくつでも)

1. 「犯罪被害者等基本法」という法律があること
2. 「山口県犯罪被害者等支援条例」という条例があること
3. 県に犯罪被害者等支援に関する「相談窓口」があること
4. 県内の全ての市町に犯罪被害者等支援に関する「相談窓口」があること
5. 県が犯罪被害者等支援に関するイベントを開催していること
6. どれも知らない

### 4 自転車の安全な利用への備えについて

Q8-1 あなたは、自転車をどのくらいの頻度で利用していますか。(〇は1つ)

1. ほとんど毎日	2. 週の3～5日	3. 週の1～2日	4. ほとんど利用することはない
-----------	-----------	-----------	------------------

Q8-2 あなたは、自転車事故に備えて自転車損害賠償保険等 (以下「自転車保険」という。) に加入していますか。(〇は1つ) 1または2と回答される方はその理由もお願いします。

1. 加入している	2. 加入していない	3. 分からない
<b>【理由】</b> ア 事故を起こした時の相手への補償に備えるため イ 相手というより自分がケガをした時のため ウ 家族等に勧められたから (家族でまとめて入っている) エ その他	<b>【理由】</b> ア 保険料が負担になるから イ 加入手続きが面倒だから ウ 事故を起こさないから エ 自転車保険の存在を知らなかったから オ その他	

Q8-3 あなたは、山口県において自転車保険加入の義務付けが必要だと思いますか。(〇は1つ)

1. 必要である	2. 必要ではない	3. 分からない
----------	-----------	----------

## 5 消費生活に関することについて

Q9-1 あなたは、強引な勧誘や詐欺的な勧誘を受けた場合や、そのような勧誘により契約を締結してしまった場合、誰に相談しようと思いますか。(〇はいくつでも)

- |                           |                              |
|---------------------------|------------------------------|
| 1. 市町や消費生活センターなど行政機関の相談窓口 | 8. 近所の人                      |
| 2. 警察                     | 9. 民生委員、ホームヘルパーなど            |
| 3. 弁護士、司法書士などの専門家や法テラス    | 10. その他 ( )                  |
| 4. 消費者団体                  | 11. 相談できる人がいない、相談できる機関がわからない |
| 5. 同居している家族・親族            | 12. 誰かに相談しようとは思わない           |
| 6. 同居していない家族・親族           | 13. わからない                    |
| 7. 友人、同僚など                |                              |

## 6 人権について

Q10-1 県では、「山口県人権推進指針」を策定し、人権に関する諸施策を総合的に推進しています。あなたは、この「山口県人権推進指針」を知っていますか。(〇は1つ)

- |                             |                       |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 知っていて内容もよく理解している         | 3. 知っているが内容はよく理解していない |
| 2. 知っていて内容もある程度は(少しは)理解している | 4. 知らない ⇒ Q11-1へ      |

【Q10-1で「1、2、3」と回答した方に】

Q10-2 それは、何を通じてお知りになりましたか。(〇はいくつでも)

- |                  |                |
|------------------|----------------|
| 1. 講演会・研修会・学習会等  | 4. 県・市町のホームページ |
| 2. 県・市町のイベント     | 5. 県・市町の広報紙    |
| 3. 公共施設などの展示コーナー | 6. その他 ( )     |

## 7 性の多様性について

Q11-1 県では、性の多様性を認め合う意識の醸成を図るため、啓発活動に取り組んでいます。あなたは、「LGBT」※という言葉を知っていますか。(〇は1つ)

※「LGBT」とは、レスビアン(女性の同性愛者)、ゲイ(男性の同性愛者)、バイセクシュアル(両性愛者)、トランスジェンダー(身体の性と心の性が一致しないため、身体の性に違和感を持つ人)の頭文字を組み合わせた言葉で、性的マイノリティを表す言葉の一つとして使われることもある。

- |                     |         |
|---------------------|---------|
| 1. 言葉も意味も知っている      | 3. 知らない |
| 2. 聞いたことがあるが意味は知らない |         |

Q11-2 あなたは、LGBT等の方が、日常生活を営む上で直面している課題・困難は何だと思いますか。(〇はいくつでも)

- |  |   |
|--|---|
| 1. 教育(学校の制服、宿泊行事、トイレ、更衣室、プール、いじめなど)      | 5. 民間サービス(宿泊施設・店舗等の利用拒否、家族割引、生命保険の受取など) |
| 2. 就労(採用試験、更衣室、トイレ、結婚休暇や介護休暇などの福利厚生制度など) | 6. 死別(パートナーの葬儀への出席、遺産相続など)              |
| 3. 住宅(賃貸住宅の入居拒否など)                       | 7. 差別的言動を受けること(じろじろ見られる、SNS等の書き込みなど)    |
| 4. 医療(パートナーの手術の同意、安否情報の提供、看護など)          | 8. その他 ( )                              |
|  | 9. 特に課題はないと思う                           |



**Q11-3** 性の多様性に対する理解の促進や支援のために必要だと思う取組を選んでください。  
(○はいくつでも)

1. 県民への広報・啓発（ホームページ、リーフレット）	6. 相談窓口の設置
2. 企業・事業者への啓発（企業向け手引きの提供など）	7. 申請書類等の性別記載欄の表記への配慮
3. 県民向け講座の開催	8. 多目的トイレにおける「どなたでも利用できます」表示
4. 性の多様性を理解するための学校教育	9. パートナーシップ制度の実施
5. 行政職員や教職員等への研修の実施	10. 特に必要な取組はない
	11. その他（ ）

## 8 地球温暖化対策について

**Q12-1** あなたは、次の「地球温暖化」に関する取組について知っていますか。(○はそれぞれ1つ)

	よく知っている	少し知っている	あまり知らない	まったく知らない
1. 気候変動緩和策 (CO2 排出量を減らす取組)	1	2	3	4
2. 気候変動適応策 (変化する気候に備える取組)	1	2	3	4
3. 脱炭素社会 (カーボンニュートラル)	1	2	3	4
4. ZEH (ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)	1	2	3	4
5. 分散型エネルギー (地域に分散しているエネルギー)	1	2	3	4
6. 次世代自動車 (ハイブリッド自動車、電気自動車など)	1	2	3	4
7. ゼロカーボン・ドライブ (再エネと電気自動車を組み合わせて活用する取組)	1	2	3	4
8. カーボンオフセット (J-クレジットなど)	1	2	3	4

**Q12-2** 「地球温暖化」に関して、あなたが利用している情報源は何ですか。(○はいくつでも)

1. 自治体や民間団体などの公式ホームページ、パンフレット等	6. 友人・知人・家族
2. テレビ	7. SNS(Twitter、Facebook、LINE、YouTube 等)
3. ラジオ	8. セミナーや講習会
4. 新聞、雑誌等の印刷された情報誌	9. その他（ ）
5. ニュースサイトや電子版の新聞など	10. 特に情報を得ていない

**Q12-3** 日常生活において、あなたが地球温暖化防止のために取り組んでいることは何ですか。  
(○はいくつでも)

1. 家庭や職場での節電・省エネ（緑のカーテンの設置、エアコン設定温度の調整、こまめな消灯）
2. 省エネ効果の高い家電製品（LED照明や冷蔵庫など）の選択 [新規購入・買換え時]
3. 省エネ性能の高い住宅づくり（省・創・蓄エネ関連設備（太陽光発電や家庭用蓄電池など）の導入や高性能建材（ガラス・窓・断熱材）の選択など） [新築・リフォーム時]
4. 徒歩・自転車・公共交通機関の利用やエコドライブ(急発進・急加速をしない運転など)の実施
5. 次世代自動車(ハイブリッド自動車、電気自動車など)の選択 [新規購入や買換え時]
6. 環境にやさしい買い物の実践（地産地消やマイバッグの持参など）
7. ごみの分別の徹底や減量化、リサイクルの実施
8. 環境学習イベントや講座への参加
9. その他（ ）
10. 取り組んでいない

**Q12-4** あなたは、地球温暖化防止のために、行政機関（県や市町）はどのような取組を強化すべきだと思いますか。（〇はいくつでも）

1. 地球温暖化に関するイベントやセミナーの開催	7. 公共施設における創・省・蓄エネ関連設備の率先導入の取組
2. 地域における環境学習の実施	8. 企業の技術開発等への支援
3. テレビや広報誌などを活用した広報	9. 国際的な技術支援や国際協力の推進
4. 省・創・蓄エネ関連設備などの導入を促進する支援制度の充実	10. 公共交通機関の整備や交通渋滞の緩和
5. 省エネ行動を支援するツールの充実	11. 森林の適正な維持管理
6. 地域内で再生可能エネルギーを有効活用する仕組みづくり	12. その他（ ）

**Q12-5** あなたが身近に感じる地球温暖化による気候変動の影響は何ですか。（〇はいくつでも）

1. 夏の猛暑、冬の暖冬など	5. 食糧生産への影響
2. 極端な豪雨の増加	6. 生態系への影響
3. 渇水の増加	7. 熱中症患者の増加
4. 台風の巨大化	8. その他（ ）

**Q12-6** あなたは、地球温暖化による気候変動の影響に対処（適応）するために、行政機関（県や市町）はどのような分野の取組を優先的に進めていくべきだと思いますか。（〇はいくつでも）

1. 農林水産業（高温に強い品種の導入や、栽培・育成技術の開発など）	5. 健康（熱中症や感染症への対策など）
2. 水環境・水資源（水質保全、渇水対策など）	6. 産業・経済活動（気候変動が工場生産や観光産業に与える影響への対策など）
3. 自然生態系（生物多様性の確保など）	7. 国民生活（気象災害に強いインフラ整備、ヒートアイランド現象への対策など）
4. 自然災害（ゲリラ豪雨、洪水、土砂災害への対策など）	8. その他（ ）

## 9 食の安心・安全について

**Q13-1** あなたは、日常の生活で食品に不安をお持ちですか。（〇は1つ）

1. 非常に不安	2. 少し不安	3. 不安はない
----------	---------	----------

**Q13-2** あなたは食品について、どのようなことに不安をお持ちですか。（〇はそれぞれ1つ）

	非常に不安	少し不安	不安はない	わからない
1. 細菌やウイルスなどによる食中毒	1	2	3	4
2. 農産物への農薬等の残留	1	2	3	4
3. 食品添加物の安全性	1	2	3	4
4. 輸入食品の安全性	1	2	3	4
5. 食品の産地表示の信頼性	1	2	3	4
6. 食品の期限表示の信頼性	1	2	3	4
7. アレルギー物質の含有	1	2	3	4
8. BSE（牛海綿状脳症）	1	2	3	4
9. 遺伝子組換え食品の安全性	1	2	3	4
10. ダイエット食品などのいわゆる健康食品の安全性	1	2	3	4
11. 放射性物質による汚染	1	2	3	4

Q13-3 あなたは、県民が安全で安心な食生活を送るために、「食品関連事業者（生産者、製造・加工者、販売者）」、「消費者」、「県」は、それぞれどのような取組が必要だと思いますか。

<b>(1) 食品関連事業者に望む取組 (〇は2つまで)</b>	
1. 法令遵守などの倫理意識の向上	4. 食品事故等が発生した場合の速やかな情報提供
2. 衛生管理の高度化や検査などの自主的な取組の推進	5. その他 ( )
3. 原産地や期限表示などの適正な表示の徹底	
<b>(2) 消費者に必要な取組 (〇は2つまで)</b>	
1. 食の安心・安全に関する正しい情報の収集と知識の習得	4. 産地や工場見学等を通じた食品関連事業者との交流
2. 食品表示制度の理解と購入時における確認	5. その他 ( )
3. 見た目や値段より安全性の重視	
<b>(3) 県に望む取組 (〇は2つまで)</b>	
1. 生産者や製造・加工者、販売者等に対する監視・指導の徹底	4. 食の安心・安全に関する正しい知識の普及と理解の促進
2. 食品に対する検査の徹底と結果の公表	5. その他 ( )
3. 食品の安全性等に関する正確で迅速な情報提供	

## 10 生物多様性について

Q14-1 あなたは、「生物多様性」※の言葉の意味を知っていますか。(〇は1つ)

1. 言葉の意味を知っている	3. 聞いたこともない
2. 意味は知らないが言葉は聞いたことがある	4. わからない

※「生物多様性」とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのことです。この生物多様性は、私たちの豊かな暮らしに欠かせない多くの自然の恵みをもたらしてくれます。

Q14-2 生物多様性を守っていくために、どのような取組が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 絶滅のおそれのある野生動植物の保護	7. 里地里山、里海の保全・再生
2. アライグマやブラックバス、アルゼンチンアリ等外来種による生態系等への影響防止	8. 森・里・川・海の一体的な保全・再生
3. 国定公園等の優れた自然環境の保全	9. 環境保全型農業など生物に配慮した農林水産業の振興
4. エコツアーや自然観察会等の自然とふれあう機会の提供	10. 産業活動や開発事業における野生生物や自然環境への配慮
5. イノシシやシカ等による農作物被害の防止など有害鳥獣対策	11. 学校等での環境教育、環境学習の推進
6. 豊かな森林づくりの推進	12. 県民への生物多様性に関する普及啓発
	13. 特に必要ない

## 11 北朝鮮による拉致問題について

Q15-1 あなたは、「北朝鮮による拉致問題」について、どの程度関心をお持ちですか。(〇は1つ)

1. 大いに関心がある	3. あまり関心がない
2. 少しは関心がある	4. 全く関心がない

Q15-2 「北朝鮮による拉致問題」の解決には、県のどのような取組が必要だと思いますか。

(〇はいくつでも)

1. 県民世論を喚起するため、北朝鮮による拉致問題の周知を図る取組(パネル展示、マスメディアでの広報等)を積極的に行う	3. 政府に対して、積極的に外交交渉を進めるように要望を行う
2. 拉致被害者ご家族を支援する団体の活動(署名、募金等)に対して、積極的に協力する	4. 他の都道府県などの自治体と連携して取組の輪を広げる
	5. その他( )

Q15-3 北朝鮮による拉致問題の解決に向けて、あなたは、今後どのように協力していきたいですか。

(〇はいくつでも)

1. 北朝鮮による拉致問題に関する集会等の行事に参加する	4. 知人や友人に北朝鮮による拉致問題に関する情報を伝えるなどの働きかけを行う
2. 街頭などで行われる署名や募金の活動に自ら参加する	5. ブルーリボンバッジを着用する
3. 街頭などで行われる署名や募金に応じる	6. その他( )
	7. 特に協力は考えていない

## 12 ギャンブル等の県内の実態の調査について

Q16-1 あなたは、ギャンブル等について、過去1年間ほどのくらいの頻度で行っていましたか。この調査でギャンブル等とは、下の①～⑫のことです。①～⑫のギャンブル等について、「1：過去1年間全くしていない」、「2：週1回未満」、「3：週1回以上」からあてはまる番号に〇をつけてください。(それぞれ〇はひとつ)

	過去1年間 全くしていない	週1回 未満	週1回 以上
(例) トランプ	1	②	3
① パチンコ	1	2	3
② パチスロ	1	2	3
③ 競馬	1	2	3
④ 競輪	1	2	3
⑤ 競艇	1	2	3
⑥ オートレース	1	2	3
⑦ 宝くじ(ロト、ナンバーズ等も含む)	1	2	3
⑧ サッカーくじ	1	2	3
⑨ 証券の信用取引、先物取引市場への投資、FX	1	2	3
⑩ インターネットを使ったギャンブル (競馬、競艇、競輪、オートレースを除く)	1	2	3
⑪ 海外のカジノ	1	2	3
⑫ その他のギャンブル [ ]	1	2	3

Q16-2 あなたはこれまでに、あなた自身のギャンブル等のことで困りごとを抱え、だれか（どこか）に相談したことはありますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。

(○はいくつでも)

1. 家族や友人	6. 民間の相談機関（無料電話相談、回復施設）
2. 学校の友人や学生相談窓口	7. 自助グループ（患者・家族会）
3. 公的な相談機関 (市町や精神保健福祉センター、保健所等)	8. その他 [ ]
4. 医療機関	9. だれ（どこ）にも相談したことはない
5. 法律の専門家（弁護士、司法書士等）	

Q16-3 もし、あなた自身や、あなたの重要な関係者（家族や友人、同僚、交際相手など）がギャンブルのことで困りごとを抱えたら、だれ（どこ）に相談しようと思いますか。あてはまる番号をすべて選んで○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 家族や友人	6. 民間の相談機関（無料電話相談、回復施設）
2. 学校の友人や学生相談窓口	7. 自助グループ（患者・家族会）
3. 公的な相談機関 (市町や精神保健福祉センター、保健所等)	8. その他 [ ]
4. 医療機関	9. だれ（どこ）にも相談しない
5. 法律の専門家（弁護士、司法書士等）	

Q16-4 あなたは、「ギャンブル依存症」※という言葉聞いたことがありますか。(○は1つ)

1. 聞いたことがあります、内容もよく知っている	3. 聞いたことはあるが、内容までは知らない
2. 聞いたことがあります、内容もある程度知っている	4. 知らない

※「ギャンブル依存症」とは、ギャンブル等にのめり込むことにより日常生活または社会生活に支障が生じている状態のことです。

### 13 薬剤師・薬局について

薬局の中には、薬について身近に相談できるかかりつけ薬剤師・薬局に加え、入退院などで療養環境が変わっても、医療機関等と薬の情報を共有して途切れることなく対応できる「地域連携薬局」や薬以外の健康に関する相談に応じる「健康サポート薬局」があります。

また、山口県独自の取組として、地域において薬学的な健康サポート※を行う「山口県健康エキスパート薬剤師」を登録・公表しています。

※「薬学的な健康サポート」とは、身近な薬局・薬剤師が、学術的な知識、経験などを活かした相談対応、県民が自ら行う健康管理への助言、受診勧奨などの総合的な支援を行うことです。

Q17-1 これらの薬剤師・薬局に関する取組について知っていましたか。(○はそれぞれ1つ)

	よく知っている	少し知っている	言葉は聞いたことがあるが内容はよく知らない	この調査ではじめて知った
1. かかりつけ薬剤師・薬局	1	2	3	4
2. 地域連携薬局	1	2	3	4
3. 健康サポート薬局	1	2	3	4
4. 山口県健康エキスパート薬剤師	1	2	3	4

**Q17-2** 薬剤師・薬局に、薬や健康に関して、どのような内容を相談できると良いと思いますか。  
(○は3つまで)

- |                                    |
|------------------------------------|
| 1. 医療機関でもらう薬の保管方法や飲み方について          |
| 2. 薬局やドラッグストアなどで購入する薬の保管方法や飲み方について |
| 3. 健康食品やサプリメントについて                 |
| 4. 栄養や禁煙など食生活や嗜好品について              |
| 5. 筋トレ・ストレッチやドーピング防止など運動について       |
| 6. 不眠や生活リズムなど睡眠について                |
| 7. 血圧や血糖値など健康診断等の検査データについて         |
| 8. 肩こり、冷え、肌の悩みなど日常生活の体調の悩みについて     |
| 9. 生活習慣病やアレルギー、認知症など長期的な疾患について     |
| 10. 在宅医療や介護について                    |
| 11. 消毒や害虫など生活衛生・環境衛生について           |
| 12. その他 ( )                        |

#### **14 多文化共生について**

**Q18-1** あなたは、「多文化共生」(地域住民と外国人が互いを認め合い共に暮らしていくこと) という言葉を知っていますか。(○は1つ)

- |          |                     |         |
|----------|---------------------|---------|
| 1. 知っている | 2. 意味は知らないが聞いたことはある | 3. 知らない |
|----------|---------------------|---------|

**Q18-2** あなたは、多文化共生の推進について、どう思いますか。(○は1つ)

- |             |                 |           |          |
|-------------|-----------------|-----------|----------|
| 1. 大変重要だと思う | 2. それほど重要とは思わない | 3. 重要ではない | 4. わからない |
|-------------|-----------------|-----------|----------|

**Q18-3** 日常生活において、あなた自身が外国人と関わることについてどう思いますか。(○は1つ)

- |                |                   |
|----------------|-------------------|
| 1. 積極的に関わりたい   | 3. それほど関わりたいと思わない |
| 2. 機会があれば関わりたい | 4. わからない          |

**Q18-4** あなたは、県内に在住する外国人にどのようなことを期待しますか。(○はいくつでも)

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 出身国の文化や言葉を紹介してほしい | 5. 日本の法律・ルールを守ってほしい |
| 2. 住民との交流や行事へ参加してほしい | 6. その他 ( )          |
| 3. 日本語を覚えて使ってほしい     |                     |
| 4. 日本で就労・就学してほしい     |                     |

**Q18-5** 今後、多文化共生を推進していくためには何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 日本人と外国人の積極的な交流       | 6. 外国人に対する日本の生活に関する情報 |
| 2. 日本人に対する多文化共生に関する普及啓発 | 提供や普及啓発               |
| 3. 外国人に関する相談窓口の設置・拡充    | 7. その他 ( )            |
| 4. 外国人に対する日本語教育         |                       |
| 5. 外国人の就学・就労・生活環境の改善    |                       |

## 15 運動・スポーツの実施状況について

Q19-1 あなたは、過去1年間に、どの程度、「運動・スポーツ」※を行いましたか。(〇は1つ)

※「運動・スポーツ」とは、陸上競技・水泳・球技・武道・マリンスポーツ、ウィンタースポーツ等の他、グラウンドゴルフ・ソフトバレー等のレクリエーションスポーツ、サイクリング、トレッキング・釣り等のアウトドアスポーツ、ウォーキングや軽い体操、運動を目的とした自転車や徒歩での通勤・通学等を含みます。

- |                         |                         |
|-------------------------|-------------------------|
| 1. 週に3日以上(年150日を超える程度)  | 4. 3か月に1~2日程度(年4~11日程度) |
| 2. 週に1~2日程度(年51~150日程度) | 5. 年に1~3日程度             |
| 3. 月に1~3日程度(年12~50日程度)  | 6. 行わなかった →Q19-3へ       |

Q19-2 どのような「運動・スポーツ」を行いましたか。(〇はいくつでも)

- |                               |                                 |
|-------------------------------|---------------------------------|
| 1. 競技スポーツ(球技以外)<br>(陸上競技、水泳等) | 6. マリンスポーツ<br>(ヨット、サーフィン、カヌー等)  |
| 2. 球技(屋外)<br>(野球、テニス、ゴルフ等)    | 7. アウトドアスポーツ<br>(サイクリング、登山、釣り等) |
| 3. 球技(屋内)<br>(バレーボール、卓球等)     | 8. レクリエーションスポーツ<br>(グラウンドゴルフ等)  |
| 4. 武道<br>(柔道、剣道、空手、弓道等)       | 9. トレーニング・健康づくり<br>(ウォーキング、ヨガ等) |
| 5. ウィンタースポーツ<br>(スキー、スケート等)   | 10. 自転車や徒歩での通勤・通学等(※運動目的)       |

Q19-3 「運動・スポーツ」を行わなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- |                 |             |             |
|-----------------|-------------|-------------|
| 1. 仕事(家事・育児)が多忙 | 5. 仲間がいない   | 9. 機会がない    |
| 2. 体が弱い         | 6. お金が掛かる   | 10. その他( )  |
| 3. 年を取った        | 7. 場所や施設がない | 11. 特に理由はない |
| 4. スポーツは好きでない   | 8. 指導者がいない  |             |

## 16 地産・地消の推進について

Q20-1 県内で生産された農林水産物を県内で消費する「地産・地消」についてご存じですか。

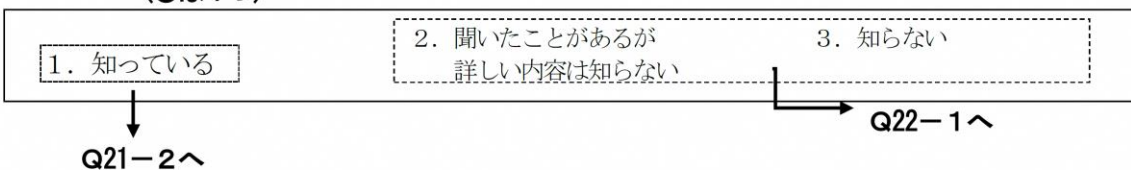
(〇は1つ)

- |                                    |                         |
|------------------------------------|-------------------------|
| 1. よく知っており、意識して県産農林水産物を購入するようにしている | 3. 言葉を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 2. 知っているが、買い物の際には特に意識していない         | 4. 初めて聞いた言葉である          |

## 17 「やまぐち森林づくり県民税」について

Q21-1 山口県では、荒廃した森林の再生を図るため、平成17年度から「やまぐち森林づくり県民税」を導入しました。あなたは、この「やまぐち森林づくり県民税」をご存じですか。

(〇は1つ)



**Q21-2** 「やまぐち森林づくり県民税」で行っている事業のうち、どの事業の内容をご存じですか。  
(〇はいくつでも)

1. 森林機能回復事業（荒廃したスギ・ヒノキ人工林の一部の伐採）	4. 森林環境活動サポート事業（ボランティア団体等への支援）
2. 繁茂竹林整備事業（繁茂した竹林の伐採）	5. 事業の内容は知らない
3. 地域が育む豊かな森林づくり推進事業（市町等が独自に取り組む多様な森林整備への支援）	

**18 山口県教育について**

**Q22-1** あなたは、今の子どもたちについてどのように感じていますか。  
いずれか1つを〇で囲んでください。(〇はそれぞれ1つずつ)

	非常に そう思う	まあまあ そう思う	あまりそう 思わない	全くそう 思わない
1. 将来に対する夢や希望をもっている	1	2	3	4
2. チャレンジ精神が旺盛である	1	2	3	4
3. 明るくのびのびしている	1	2	3	4
4. 美しいもの、清らかなものに感動できる	1	2	3	4
5. 基本的な生活習慣や礼儀が身に付いている	1	2	3	4
6. 豊富な知識が身に付いている	1	2	3	4
7. 勤労の意義を理解し、進んで働いている	1	2	3	4
8. 協力性や協調性がある	1	2	3	4
9. 人権を大切にしている	1	2	3	4
10. 根気強くものごとに取り組んでいる	1	2	3	4
11. 自分の考えで主体的に行動できる	1	2	3	4
12. 個性豊かで創造性に富んでいる	1	2	3	4
13. グローバルな視点が身に付いている	1	2	3	4
14. 郷土に誇りと愛着をもっている	1	2	3	4
15. 地域や社会をよくするための活動に取り組んでいる	1	2	3	4

**Q22-2** あなたは、幼児教育・保育施設（保育所、幼稚園、認定こども園等）ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(〇は3つまで)

1. 遊びを中心とした多様な経験を積ませる	6. 身体を丈夫にする
2. 文字や数字などを教える	7. 情操、感性や想像力を育てる
3. 基本的な生活習慣を身に付けさせる	8. 集団生活に慣れさせる
4. 個性を伸ばす	9. 相手を尊重する気持ちを育てる
5. 道徳心を育てる	10. その他 ( )



**Q22-3** あなたは、小学校・中学校・高等学校の教育ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。小学校・中学校・高等学校それぞれについて、お答えください。

(○はそれぞれ5つまで)

	小学校	中学校	高等学校
1. 自ら考え主体的に判断し、互いの立場や考えを尊重しながら、他者と協働して自由に意見を表明することができる力を育てる	1	1	1
2. 学びを人生や社会に生かそうとする態度を育む	2	2	2
3. 基礎的な知識及び技能を身に付けさせる	3	3	3
4. 児童生徒の進路希望が実現するような学力を身に付けさせる	4	4	4
5. ICTを活用した情報活用能力や情報モラルに関する意識を育てる	5	5	5
6. 人工知能等の科学技術の進展に対応する力を育てる	6	6	6
7. ボランティアや福祉の重要性を理解できるようにする	7	7	7
8. 国や郷土の伝統や文化を尊重し、継承する態度を育む	8	8	8
9. キャリア教育(※)を充実させる	9	9	9
10. 個性や創造性を伸ばす	10	10	10
11. グローバル化に対応する力を育てる	11	11	11
12. 互いを認め合い、人権を尊重した言動ができるようにする	12	12	12
13. 健康な体づくりと体力の向上を図る	13	13	13
14. スポーツ・文化活動に積極的に取り組ませる	14	14	14
15. 基本的な生活習慣を身に付けさせる	15	15	15
16. いじめ・暴力行為等の問題行動や、不登校などに適切に対応する	16	16	16
17. 望ましい人間関係を形成する力を育てる	17	17	17
18. 児童生徒の適性を踏まえた進路指導を行う	18	18	18
19. 自然体験活動を増やす	19	19	19
20. 学校の施設・設備を充実する	20	20	20
21. 家庭や地域との連携・協働を深める	21	21	21
22. 社会体験活動を増やす	22	22	22
23. その他( )	23	23	23

※ キャリア教育とは、一人ひとりの社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分にふさわしい生き方の実現を促す教育のことをいいます。

**Q22-4** あなたは、障害のある子どもの教育ではどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(○は3つまで)

1. 障害の種類や発達の段階等に応じた適切な指導・支援及び配慮が受けられるようにする	5. 基本的な生活習慣を身に付ける教育の充実を図る
2. 指導や支援のための計画を個別に作成し、活用を進める	6. 進路指導、職業教育の充実を図る
3. 教職員の専門性の向上を図る	7. 学校の施設・設備の充実を図る
4. 障害のある子どもと障害のない子どもが共に学ぶ教育の充実を図る	8. 学校、家庭、地域が一体となって障害のある子どもの教育の充実を図る
	9. その他( )

